

# 白山市におけるインバウンド誘致に関する考察

団体名●宋基礎専門ゼミナール／代表者名●宋涛（経済学部経済学科・教授）

## はじめに

平成27年3月の北陸新幹線金沢開業以降、沿線地域の地方自治体は新たな観光需要創出に向けた様々な取組を実施しているところである。白山市には、白山国立公園をはじめとする自然・歴史・文化など観光資源が豊富に存在している。白山市における新たな観光需要創出に向けた取組が喫緊の課題となっている。

そのため、宋専門基礎ゼミは地域の観光資源の魅力を極め、地方創生の礎にすることを踏まえ、全国的に増加する訪日外国人旅行者（インバウンド）の積極的受入を考慮し、白山市の海外からインバウンド観光受入環境の整備状況、誘致政策や取組を考察し、海外からのインバウンド観光の誘客推進を図るため、行政にインバウンド観光受入環境の整備課題及び改善点を提起した。

## 活動内容

- ①白山市の国際化に関する政策やインバウンド誘致施策とその取組現状について行政関係者からヒヤリング調査を通じて明らかにした。
- ②白山市の観光資源を整理し、ゼミ生を4つのグループを分けて現地視察などを通じて海外からインバウンド観光受入環境の整備状況について調査した。
- ③中国、台湾、香港及びASEANの訪日観光客をターゲットにしてシーズン別や客層別のモデル観光コースを作成した。
- ④海外からのインバウンド観光の誘客推進を図るため、行政にトップセールス（ターゲット地域との国際交流の推進）及びインバウンド観光受入環境の整備課題及び改善点を提言した。

## 成果、結果の考察

- ①白山市のインバウンド観光の受入環境
  - 外国人は感じられる魅力的な観光スポットが豊富であるが、交通機関が不十分で観光地へ行きづらいため、空港や駅から白山市への二次交通を

整備する必要がある。

- 多言語対応の施設が少なく、石川県で作られた外国人用へのコミュニケーションシートが使用されている例がないので、積極的に導入すべきである。
- 宗教上の食事問題に関する取り組みが少ない。
- 観光サポートは公式のものは1箇所のみ、ボランティアガイドは少なく、時間も限られている。観光サポート、案内所などをもう少し増やし、パンフレットの配布などが必要である。
- 通訳は有料で気軽に頼れない。地域住民の対応は悪くはないが大きく歓迎するものでもないと感じられる。通訳が必要なくても最低限のコミュニケーションができる環境作り、さらなる外国人受け入れの推進指針を定めるべきである。

## ②誘致推進の取り組み課題

- 誘致ターゲット地域が設定されていない。中国、台湾等及び東南アジア地域をターゲット地域として設定し情報発信を強化し知名度のアップに取り組むべきである。また、ターゲット地域との国際交流を推進し、現地を訪問しPR活動をするトップセールスが実施すべきである。
- 白山市の公式HPが白山市の魅力をPRしており、観光スポットがすぐに見つけられるが、大々的にPRしているものが少なく、外国のSNSへの多言語の投稿やPRが極端に少ない。また、SNSを頻繁に更新しその観光地ごとの公式アカウントを作って発信する取組が必要である。

## 今後の課題、展望

今回のゼミ活動は1年間を限られているため、プロモーションビデオを作成し、SNSを利用してPRを発信する活動が実施することができなかったため、今後の課題をしたい。また、白山手取川ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定状況を鑑みて、それをどう活用してインバウンド誘致を繋がっていくことも今後の課題である。